

平成31年度版 改善計画

学校名：甲府市立北西中学校

No.	項目	現状と課題	H32年度に目指すべき状態	① H31年度に実施する内容 ②H32年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	○職員会議提案事項については、事前に企画会議で検討し、職員会議の時間短縮を図る。 ×会議の準備資料がなかなか提出されない。	・定時までに全ての会議を終える。	① 資料完成を会議2日前には終える。企画会議で事前に改善点のみ検討し、職員会議は短時間で議事が終わることを徹底する。 ② 電子会議を含めたペーパーレス化を検討する。	
2	学校行事の負担軽減	○行事が終わってらすぐに職員による評価を実施し、見直しや改善を進めている。	・各行事について日程のや内容の見直し、精選が行われている。	① 日程や内容の見直しを含め、学期前の職員会議で随時検討する。 ② 取り組み期間の短縮なども含め、行事の精選を進める。	
3	校内組織の見直し	○電子データで次の分掌への引き継ぎを行っている。	・校務分掌のバディシステム化が定着している。	① 共有ドライブのフォルダ構成内容の精選。 ② 分掌の主担当・副担当を配置し、校務の協働処理体制を推進する。	
4	業務の効率化	○職員の業務の効率化のため、日直日誌に退勤時間を記載している。 ×遅くまで残る職員が固定化している。	・月ごとに職員の完全下校時刻を設定する。	① 勤務時間の管理を徹底する。 ② ICTの活用ができるよう検討する。	
5	部活動の負担軽減	○「きずなの日」には諸活動を設定しないことを徹底している。 ○部活動月間計画を月末に確認し、負担軽減を図っている。 ×生徒数に比べ部数が多く、複数顧問配置が難しい。	・教育内大会以外の活動(社会体育に移行できる協会主催の大会等)については、適宜移行する。 ・P総会や部毎の保護者会等の機会を理解を求める。	① 部活動の設置や廃部に関する方針を明確にし、あらかじめ生徒や保護者に伝えていく。 ② 部の設置数や存続について検討し、複数顧問の配置に向け適切な部活動数への移行を開始する。	
6	地域人材の活用	○現在、教員OBの3名の先生方が教育支援ボランティアとして1日2時間ずつ、学習支援を行っている。	・学生による教員支援ボランティアを含め、平日すべての日にボランティアが活用できる体制にする。	① 学習支援や部活動支援について、学生の教育支援ボランティアの活用を進める。 ② ボランティアを行ってくれる方を増やし、一人当たりの負担軽減を進めて、参加しやすい環境を作っていく。	
7	バディシステム化	×職員数が少ないために、休みが取れない。迷惑がかかると感じている職員がほとんどである。	・バディシステム化による補助体制の構築。	① 同僚性の上でお互いがお互いの生活をほんの少し助けていこうという意識を持つ。 ② バディにより学年を超えた年休取得等のシステム化。	
8	週に1度の定時退勤	○定時退勤日には18時退勤の呼びかけが行われている。 ×保護者対応等で残る職員も多く徹底しない。	・緊急時以外は20時までにすべての職員が退勤する。	① 週に1度、18時までに退勤する取り組みを継続していく。早く帰ることを経験してもらい職員意識の変化をめざす。 ② 定時退勤日の拡大を目指す。	

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に甲府市教育委員会に提出する。 A達成できた Bある程度は達成できた Cあまり達成できなかった D達成できなかった

●H31年度における「きずなの日」の年間実施回数 23回